

3. 大腸がん

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	状況	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法		光線力療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容			
				開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	小線源治療			治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 外科・消化器外科	8	3	状況	○	○	○	×	○	×	×	×	早期大腸癌に対しては内視鏡的治療 (EMR) および腹腔鏡下手術を適切に使い分けていますが、進行大腸がんについても基準を設けて腹腔鏡下手術を行っています。術後補助化学療法および高度進行、再発例に対する化学療法などは基本的にはガイドラインに沿った治療を行っていますが、各種臨床試験にも参加しており、なるべく最新の治療を受けていただけるようにしています。	ア	外科・消化器外科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	なし	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
2 消化器内科	5	5	状況	×	×	○	○	○	×	×	×	大腸癌治療ガイドラインに準じて治療方針を決定しています。	ア	消化器内科	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
3 放射線科	4	1	状況	×	×	×	×	×	○	×	×	局所進行、切除不能直腸がんに対して、術前化学放射線療法を施行しています。直腸がん局所再発に対する緩和的照射も積極的に行います。	ア	放射線科	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし		イ	http://			
4			状況										ア	http://			
			実績										イ	http://			
5			状況										ア	http://			
			実績										イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 結腸がん、直腸がん、肛門管がん 結腸がん、直腸がん、肛門管がん
------------------------------------	---------------------------------------